

提供日 2021/1/28

タイトル 生産・出荷ともに前月比で低下

静岡県鉱工業指数(令和2年11月分速報)

担当 経営管理部 ICT推進局統計調査課

連絡先 商工班

TEL 054-221-2240



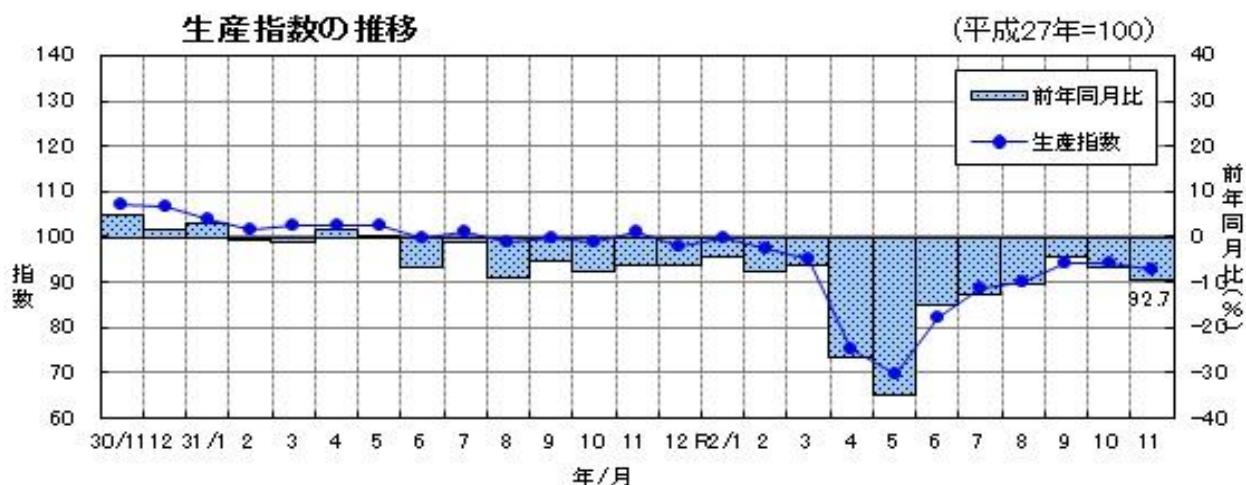
Shizuoka Prefecture

1 生産指数の動き

令和2年11月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成27年=100)は92.7となり、前月比は1.7%減と6か月ぶりに低下した。

また、前年同月比(原指数)は9.3%減と18か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、化学、鉄鋼業等が上昇する一方、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が低下した。

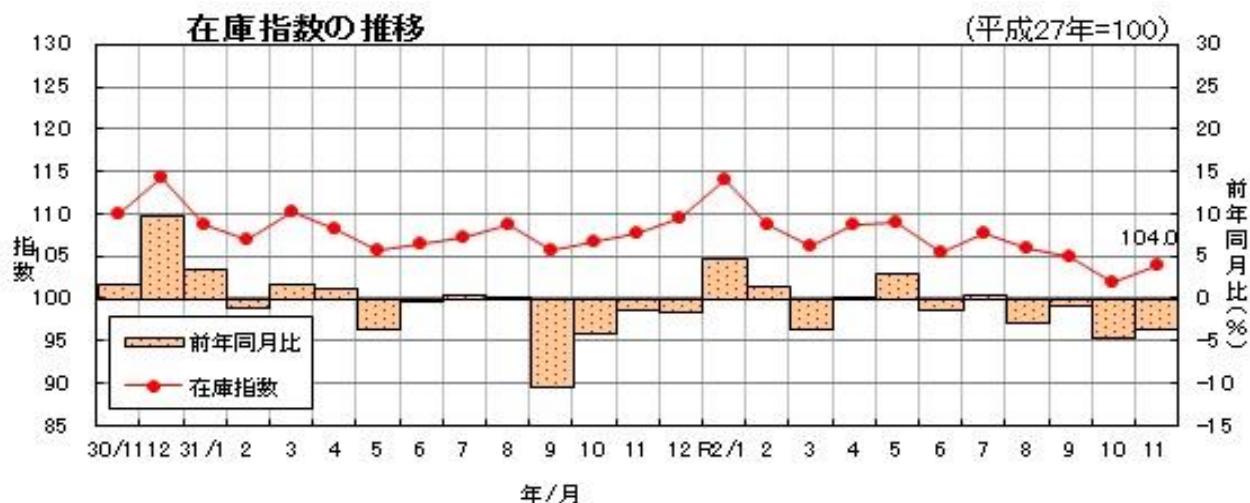


3 在庫指数の動き

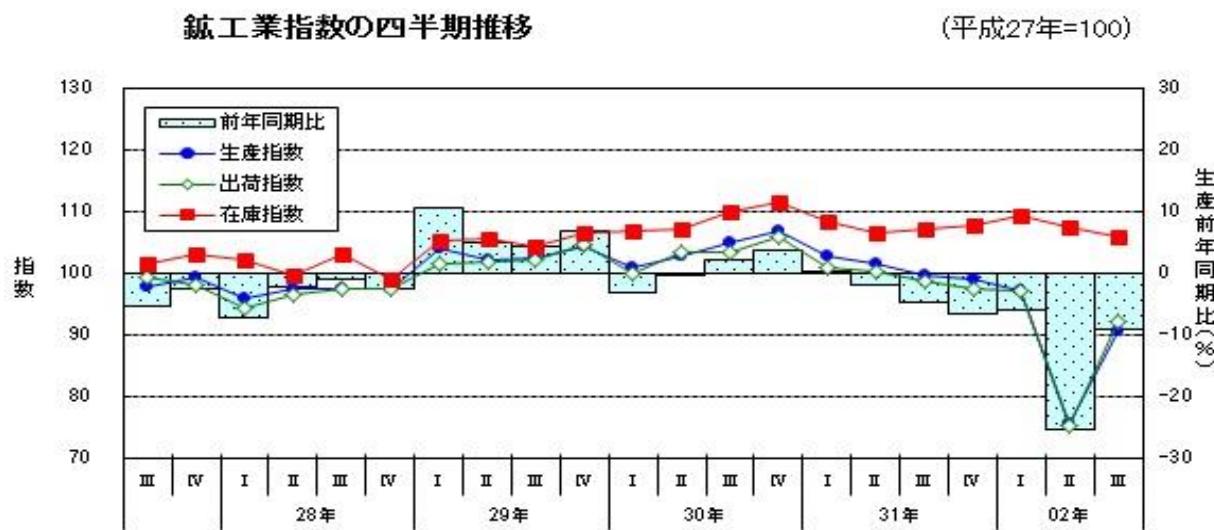
令和2年11月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成27年=100)は**104.0**となり、
前月比は**2.1%**増と**4か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**3.6%減**と**4か月連続して前年を下回った**。

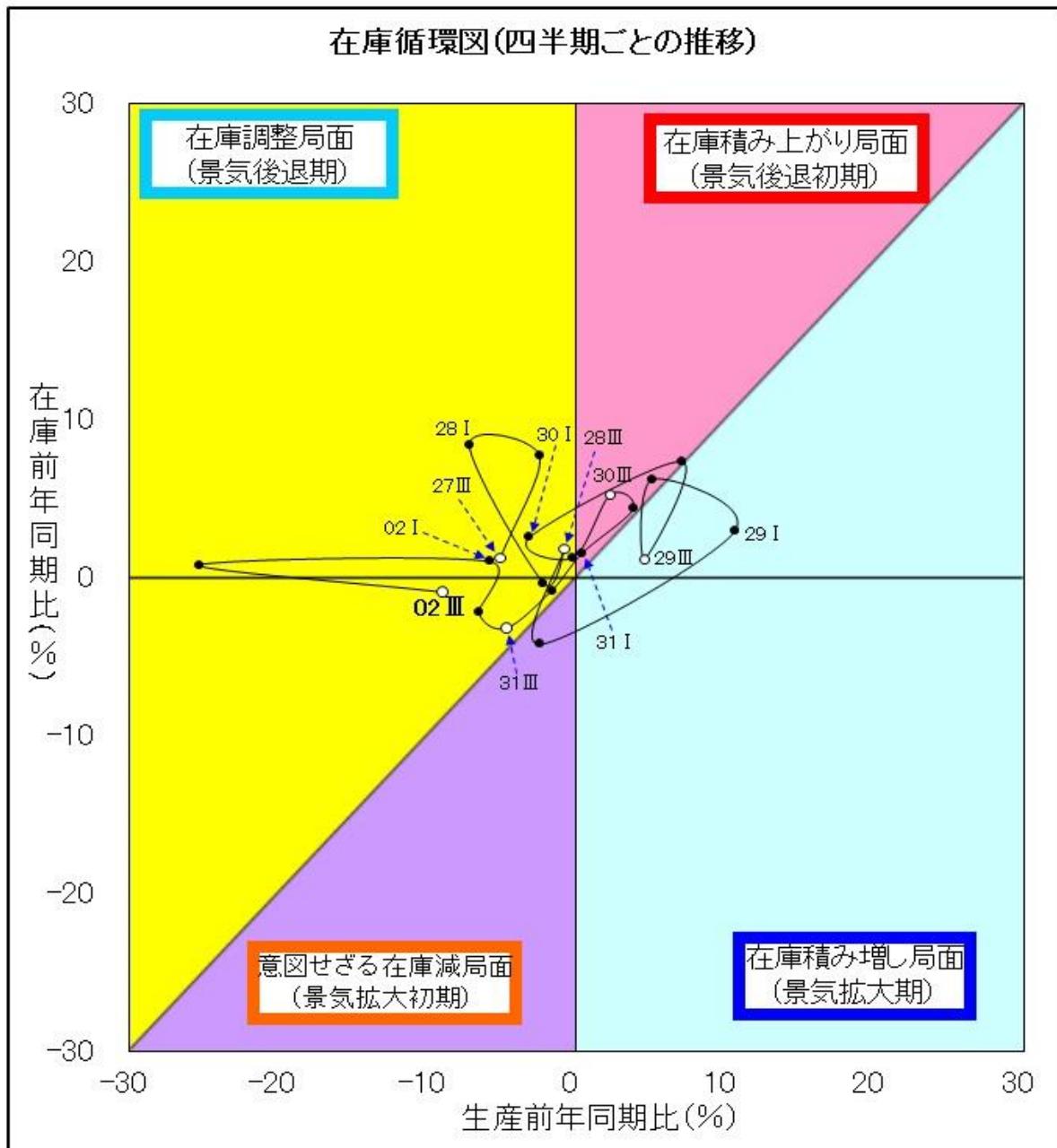
業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、パルプ・紙・紙加工品、汎用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、非鉄金属、窯業・土石製品等が低下した。



＜参考1＞四半期推移及び在庫循環図



在庫循環



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対応する。
- 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- 在庫調整局面 (景気後退期)
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。